



SDGsだより No.5

令和5年12月22日(金)
幼保連携型認定こども園
学校法人 成田学園
希望ヶ丘こども園
園長 相楽悦子

子ども達のSDGsの取り組み

師走の候、保護者の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。日頃より本園の教育・保育活動にご理解・ご協力を賜りまして、厚く御礼申し上げます。今や本園で取り組んでいるSDGs教育・保育は主体性を育む小学校につながる学びとして注目され、子ども達の活動は2学期も各方面で取り上げられ、高い評価をいただきました。9月、「郡山市セーフコミュニティ通信」では、安心・安全の園として子ども達の活動が大きく掲載されました。10月、「東北地区私立幼稚園・認定こども園教員研修大会」では、東北6県の大勢の先生方が来園し、主体的に楽しくかつ元気に遊ぶ子ども達やSDGsに取り組む子ども達を参観され、本園の先進的な教育・保育を学んでいられました。11月、福島県主催の「第1回森林(もり)から学ぶエコ活動」にSDGs教育・保育の園である本園が招かれ代表園児は、内堀県知事と楽しくエコ活動をしてきました。12月、「郡山市広報こおりやま」にSDGs教育・保育に取り組んでいる園として、子ども達の取り組みが掲載されました。

SDGsだよりNo.5では、子ども達の取り組みを各紙の記事で振り返り、子ども達の成長を保護者の皆様とともに喜び合いたいと思います。

<広報こおりやま 12月号>

竹組さんが、広報こおりやまのWe Love Koriyamaに紹介されました。絵本を読みSDGsへの興味・関心を持ち、日頃の生活の中で、水を大切に使うことやお給食を残さず食べること等、できることから取り組んでいます。保護者の皆様のご協力もいただきSDGsの木を通して、ご家庭での取り組みをみんなで共有することができました。ご家庭でもエアコンの設定温度を下げすぎないようにしたり、コンセントをこまめに抜いたり、食品ロスにも取り組んだり、園内のSDGsの木にりんごの実がたくさんなりました。園児・職員・保護者の皆様が一体となり、SDGsに取り組んだ成果が紹介されました。



持続可能なストーリー

子どもたちの「見たい・聞きたい・やりたい」を実現！
学校法人成田学園 希望ヶ丘こども園



令和4年度 第4回「こおりやまSDGsアワード」教育部門受賞
保育活動をSDGsのゴールと関連付けて実践し、子どもたちの疑問や好奇心に合わせたSDGs教育に取り組んでいる希望ヶ丘こども園。園長の相楽悦子さんに活動への思いを伺いました。



活動のきっかけは？
市がSDGs未来都市に認定され、小・中学校でさまざまな活動をしている様子を見て、当園でもSDGsを取り入れたと考えました。そこで元々実践していた教育カリキュラムを見直し、SDGsの視点を立った取り組みを行っています。どの様な活動ですか？
「なぜ？どうすればいいの？」といった子どもらしい疑問を大事にして、SDGsを自然と考えられるように工夫しています。例えば、写真や絵本など、貧困や飢餓、水の少ない国や自然破壊などの現状を伝え、「自分は何ができるだろう」と想像させる機会を作っています。水や自然に感謝し大切にすることを自ら考えるようになり、エコの意識が強くなりました。子どもたちのアイデアから、うがいでの使う水の量を半分にしたなどの取り組みも始めました。また、園内で幼年消防クラブの活動を行い、安全・安心への意識も高め1回実施していて、園で

「SDGsって大切だよ」と、子どもたちがよく言うようになりました。家庭で取り組むSDGsを募集したところ、たくさん応募があり、各家庭にもSDGsの理解が深まっていると実感しています。
また、園で発行しているお便りや会議でベーパーレスに取り組むなど、教職員にも意識が広がっています。子どもたちと一緒に生活をしながら、教職員も一丸となってSDGsを実践できていることがうれしいですね。
今後は？
これからもSDGsを取り入れながら、子どもたちの発想や新しいことへの挑戦を支えていきたいです。当園で養った主体性が小学校からの学びに生き、子どもたちが明るく楽しく過ごすための力になることを期待しています。

☎ 同校 ☎ 951-0443



セーフコミュニティ郡山
2018.2.2 国際認証取得
2023.2.4 国際認証再取得

セーフコミュニティ通信 第34号

2023(令和5)年9月発行



セーフコミュニティ活動推進事業所の活動を紹介します



現在セーフコミュニティ活動推進事業所には、**57** の事業所に登録いただき、安全・安心なまちセーフコミュニティこおりやまの活動を推進しています。

今回はその中から、昨年度セーフコミュニティ賞を受賞した

学校法人成田学園 希望ヶ丘こども園 さんに活動の内容をお聞きしました！



希望ヶ丘こども園さんの

セーフコミュニティ活動



交通安全教室・避難訓練 を行っています！！

毎月実施する**避難訓練**では月毎に設定を変え、どんな非日常にも対応できるように訓練しています。



不審者 VS 先生



不審者に遭遇したらどうする？

実際にロールプレイをしたり、歌や着ぐるみの動物さん達を通して**子ども達の心に響く活動**にしようと工夫しています。子どもたちは素直な心を持っているので、心に響いたことだと思い出という形で心に留めてくれます。

お家でも実践することが大事なので、園での取り組みをその都度HPにUPし、家庭にお知らせすることで、お子さんと**家庭でも話し合ったり、実践**していただいています。



トラさんと一緒に練習！

その結果



お外の散歩の時も廊下を歩く時も、子ども達は右側を1列になって歩いたり、車が来ると「あぶないよ！」と教えあう姿が見られるようになりました。保護者の方のご協力もあり、登降園での子ども達の事故やケガはありません。

教職員も心して毎日の安全点検や危険箇所点検を実施しています。ヒヤリハット会議も開き、事故・ケガの予防に努めています。



すぐにテーブルの下！



なゆたくん(5歳)

防犯教室で教えてもらった「いかのおすし」・「おかしも」はばっちり覚えているよ！！



よかった～

地震がきた時、写真が落ちて割れてしまってびっくりしたけど、避難訓練で勉強したことを思い出して、すぐにテーブルの下に隠れることができたよ！！



さなちゃん(5歳)

ほかにもこんなセーフコミュニティ活動をしています

火の用心の演奏



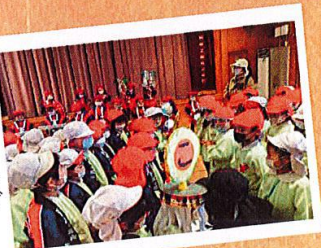
火災予防ポスターコンクールに参加



約束を守るように各クラスに貼っています



幼年消防クラブ引継ぎ式



月に1回の避難訓練



希望ヶ丘子ども園さんはSDGsを推進している園なんだよ！SDGs目標達成のための1つとしてセーフコミュニティ活動に力をいれてくれているんだね！！

これからの目標

これからも子ども達が園やまちで幸せに暮らせるように保護者・地域・行政や関係機関と協働して安全・安心のまちづくりに取り組んでいこうと思います。今後もSDGsの園、セーフコミュニティの園として、子ども達の幸せのために活動を推進してまいります。



希望ヶ丘子ども園さんがつたえたい想い

セーフコミュニティの活動は、私達のまち郡山市を安全で安心なステキなまちづくりにする活動です。本園の取組でもお分りのように、避難訓練、防犯訓練、交通安全教室など**当たり前のこと**をまず実践することに意義があると思っています。これら1つ1つの活動が点だとすると、様々な活動をする事で線となり、その中での気づきや考えが一人一人の幸せに繋がるものとして花ひらくのがセーフコミュニティ活動ではないかと思っています。子どもやお年寄りなどに優しくするのもセーフコミュニティ。危険なところがあったら取り除くのもセーフコミュニティです。**身近なところから**活動してみたいかがでしょうか。



郡山市が安全・安心なまちとなるためには、**身近**にいる人たちが安全・安心で幸せに暮らすことができるような**当たり前のこと**をまずは実践していくことが大切なことだと希望ヶ丘子ども園さんの活動をとおして伝わりました。今後の活動も応援しています！

～取材協力ありがとうございました～

登録いただいた事業所は、市ウェブサイトやセーフコミュニティ通信などに掲載し、事業所の安全・安心活動をPRします！

参加登録事業所の一覧やこれまでの取組報告については、市ウェブサイトからご覧いただけます。

セーフコミュニティ 活動推進事業所



＜森林（もり）から学ぶエコ活動＞～みんなで守ろう地球の未来～

11月27日（月）に希望ヶ丘こども園のエコ活動が認められ、福島テルサに松組さんのお友達が招待されました。内堀県知事や森の案内人と一緒に自然素材を活用したクリスマスリース作りを行いました。松組の子ども達は、優しい内堀県知事さんと一緒に素敵なクリスマスリースを完成させ、とても良い経験をさせていただきました。



＜エコたんと一緒にポーズ＞



＜内堀県知事とクリスマスリースを作りました＞



＜森の案内人の皆さんが「森を守ろう」の紙芝居を見せてくださいました＞



＜リースの材料を選ぶ子ども達＞

今後も保護者の皆様のご支援のもと、継続してSDGsを大切にされた教育・保育を目指していきたいと思っております。